

MSWキャリアラダー評価表

ラダー I : 指導を受けながら実践できるレベル
目標 : 助言、指導を受けながらSWを実践する

所属 : _____
 氏名 : _____

評価 (Oか×か、A:非常に良い・B:よい・C:ふつう・D:努力を要する、E:非常に努力を有するの5段階評価)

内容	開始日	自己評価	他者 (バイザー) 評価	合意評価	合意評価日
(1) 実践					
①アセスメント					
<ul style="list-style-type: none"> 指導を受けながら、各々のアセスメントシート等に沿って情報収集ができる。 指導を受けながら、他職種と連携し情報を共有できる。 指導を受けながらSW記録が書ける。 					
②ニーズの明確化					
<ul style="list-style-type: none"> 指導を受けながら個々のニーズを明らかにできる。 対象者理解を行うことができ、スーパーバイザーと共有することができる。 					
③支援計画					
<ul style="list-style-type: none"> 指導を受けながら、アセスメントを元に支援計画を立案できる。 支援計画をクライアントと共有することができる。 					
④介入					
<ul style="list-style-type: none"> 指導を受けながら、支援計画に沿った介入ができる。 指導を受けながら、適切に面接技術を活用できる。 指導を受けながら他職種他機関との連携ができる。 指導を受けながら、SW記録が書ける。 					
⑤評価					
<ul style="list-style-type: none"> スーパーバイザーにクライアントへの支援の経過、結果を報告できる。 指導を受けながら、SW介入経過、結果についての疑問や曖昧な点を明確化できる。 指導を受けながら、SW介入の妥当性を評価できる。 					
(2) 教育					
<ul style="list-style-type: none"> 研修に積極的に参加する。 自ら指導を受けることができる。 キャリアラダーの枠組みを理解する。 					
(3) 研究					
<ul style="list-style-type: none"> 「研究」に関心をもち学会等に参加することができる。 研究活動が自己の専門性の向上に必要な作業の一部であることを理解できる。 					
(4) 管理					
<ul style="list-style-type: none"> 社会人として時間や約束事を守るなど自身を管理できる。 所属組織、部署の状況やルールを知り、職場に慣れる。 自身の心と体の健康管理ができる。 倫理綱領を読む習慣をつけ、内容を理解できる。 					
(5) 理論					
<ul style="list-style-type: none"> ソーシャルワークには、たくさんの実践モデル、パースペクティブ (視座)、実践アプローチなどが存在し、実践の中でそれらが活用されていることを認識する。 「治療モデル」「生活モデル」「ストレングスモデル」の実践モデルについて理解し、指導を受けながら3つのモデルで対象を見ることができる。 					

所属 : _____
 評価者 : _____

<評価用シート>

2017/11/14

実施期間	所属	氏名	評価者
<年度計画>			
1 年度到達目標			
2 取り組み内容			
<自己評価>			
1 年度振り返り			
2 次年度への課題			
<評価者コメント>			